

平成27年度岡山ESD推進協議会
岡山ESDプロジェクト活動支援助成金事業報告書

事業名 親業訓練に基づいた人間関係づくり

団体名 いろは邑

担当者名 江崎英子

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

- ・親業訓練一般講座・・・自分と他者、地球上の全ての命を慈しみ大切に、美しい地球を存続しようとする心を育てる。そのために人として最も大切な心が育まれるコミュニケーションの理論と実践法を学び尊重し合うための自尊感情を育てる。

平成27年9月30日（水）～12月24日（木）

場所 アースエイト、参加対象者 一般、人数 3名

- ・親業訓練パート2講座・・・親業訓練一般講座の復習とより深く実践するための講座。

平成27年9月14日（月）～平成28年1月12日（月）

場所 おかえり庵、参加対象者 一般、人数 5名

- ・自己実現のための人間関係一般講座・・・自分らしい表現、自分らしい生き方未来を広げる人間関係を自分でプロデュースする講座。

平成28年1月16日（土）～現在開講中

場所 グレース

- ・ゴードン博士のコミュニケーション講座

平成27年9月5日（土）

場所 アースエイト、参加対象者 一般、人数 7名

- ・合同フォロー講座・・・受講生対象のフォローの会

講座の復習や親業実践の近況報告

奇数月第三金曜日・土曜日に開催

- ・特別合同フォロー・・・受講生以外にも一般の方の参加も募り、多様性を認め合えるために最も大切な人間としても学び人間関係づくりを大人が学んでいく会。未来を担う子供たちに持続可能な環境づくりの本質を語り生きて見せる大人であるために。

平成27年9月18日

場所 アースエイト

内容 「わが子と心が通うとき」と「ひび割れ壺と少年」の著者でADHDの息子との親子関係に苦しみ続け「親業」で、わが子と心を通い合う道を見つけた母であり親業インストラクターの松本純さんをお迎えして、お互いを大事にしながら

<p>心が通い合うコミュニケーションの大切さに気づいた体験、心を通わせる実践についてお話していただきました。</p>
<p>2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ</p>
<p>・講座の中で、次世代の子ども達の健やかな成長と自立と協調性を育てる親（大人）のあり方について話題にし、何度となくその役割を担う重要性を説いた。</p>
<p>3. 取組の成果（参加者の変化、感想など）</p>
<p>「親業」というものは、「親」という立場の受講者だけ有効なものと思われがちであるが、今年度も、学生を含め独身の方の参加があり、自分の「親」「家族」「周囲の人」に対して良好なコミュニケーションをとるのに重要な学びであることに気づかれていた。また、就職前の方、お勤めをされている方、経営者や教職員、しかも、男性、父親の参加が今年度も増え、本当の意味の「聞く」「話す」「対立をとく」ことの学びを深められ、実践し、自分の想像を越えたあらゆる人間関係におけるコミュニケーションの手ごたえに、喜びの報告がたくさん届いている。「自己実現のための人間関係講座」については、「自分の人生を自分が主役で生きる」ことをテーマに学びが進められるので、スムーズにできなかった対人関係に潜んでいた自分の心の中を知ったり、コミュニケーションのとり方を実践的に学んだりすることにより、より積極的に自分の人生を充実させる方法を得られ自信をもたれた様子である。また、相手との関係も尊重し合う関係が築かれるようになって、心が満たせていく人生を実感しているとの声がたくさん寄せられる。</p>
<p>4. 今後の課題と展望</p>
<p>岡山県下の学校教育現場がまだまだ厳しい状況がメディアのみならず、身近なところから耳にされ続けている。保護者達（大人）が教育現場に様々なことを求める前に、まず、対人関係のスタート地点である各家庭で、親（大人）が、我が子達に「自分という大人が何を大切に、どう生きているのか」そして、「何を大事に我が子を育てているのか」を伝えられる程の思いをもっているのか疑わしい。仮に確固たる思いがあったとしても、その思いを伝える環境を整えているとも言い難いであろう。</p> <p>一方的に言い放つことは簡単だが、それではただの一方通行で子ども達には、受け止めてはもらえない。未来を託す子ども達に、一つでも多く受け止めてもらい、よりよき社会や地球への活動を広げてもらうために、良好なコミュニケーションの土台づくりが先決である。</p> <p>これには、親業の3つの柱である「聞く」「話す」「対立をとく」を学び、生活の中でしっかり実践し、体得していくほかないと思われる。そして、これらは、日々の積み重ねではじめてかけられる人同士の「心の架け橋」ともいわれている。</p> <p>生きにくくなった社会を生き生きとした社会に立て直し、持続可能な社会にしていくために、より多くの大人が気付き実践していく必要があると思われる。</p> <p>今後の展望としては、親業訓練講座を受講された人がゴードンメソッドを軸に、それぞ</p>

れの想いを実現する、教育分野では「子どもも大人も自立する保育園」を、福祉分野では「利用者も職員も輝く施設」を、ビジネス分野では「人にも組織にも幸福をもたらすコンサルティング」を立ち上げられたものが、発展していくことに期待していますし、このような教育施設、医療福祉施設、企業、団体が増えることに期待します。

みなさん、親業の絶大な効果に驚いている人達がますます発展しています。

持続可能な環境づくりには、良質な人間関係が土台として必要であることが証明されていることに他なりません。

現代は、まずは、人間関係について学び実践する時代であると痛感しています。

そして、まずは、持続可能な環境づくりを推進されている行政の方々に学んで欲しいと切に願います。